

「星の旅」

(2014年4月29日～5月6日予定)

桑田 直宏

2014年のゴールデンウィークに福原さんとニュージーランド・テカポに行く予定です。

テカポはニュージーランド南島の中央部に位置し、ニュージーランド一番の晴天率を誇り、周りにはマウントクックや氷河など素晴らしい自然があります。人口は3000人の町で周囲100kmに大きな町はなく、世界でも有数の暗い星空が保たれているということで、今、テカポの星空を世界自然遺産に登録しようという初めての試みが進められています。

この時期は暗くなると南十字星、すぐ近くには大マゼラン・小マゼランが雲のように見えます。夜中には紡錘状の天の川が天頂に輝きます。また、緯度が高いこともあってオーロラも撮影できる場所でもあります。

目的は南天の星空の観望なので個人旅行になります。クライストチャーチ空港に到着するとレンタカーを借りてテカポまで走ります。晴れた日には明け方まで観望をするので、ホテルではなく自由の利くモーテルに宿泊する予定です。自炊か外食になりますが、現地で購入しをして料理を作るのも楽しいものです。



南天の星空の見どころ

○南十字星近辺

この星座を見ないと南天に行った意味がないと言える有名な星座。すぐそばにはコールサックという暗黒帯もあって写真には格好の被写体となる。またこのあたりには小さな宝石のような天体がいっぱいあって、望遠鏡の低倍率・広視野でゆっくりと観望したい星域。



○オメガ星団

数ある球状星団の中で最大の天体。小さな望遠鏡でも一つ一つの恒星が分離して見えるはず。それは素晴らしい眺めとなる。

が目に飛び込んできた。まるで他の惑星帯にホッとしているような感覚になったことを見えている。

大マゼンラン星雲にはタランチュラ星雲、小マゼンランのすぐそばにも NGC104 という大球状星団があって望遠鏡で必見の天体。

○エータ・カリーナ星雲

今回、望遠鏡で必ず観ようと思っている天体の 1 つ。かなり大きく、写真では 200 ミリレンズの視野一杯になる。倍率を変えてじっくりと観望してみたい。

○紡錘上の天の川

この時期は真夜中になると天頂に天の川が輝く。天の川の一番濃いところは日本では地平線近くだが、ここでは真上になる。超広角レンズで撮影したい。

○オーロラと黄道光

ニュージーランドに以前行ったときは、オーロラが見えるとは知らなかった。今回はちょうど太陽活動の活発な時期でもあり、タイミングが良ければ見えるかもと期待している。

○持っていく機材

望遠鏡 テレビュー76(口径 7.6 センチ 焦点距離 480 ミリ)

接眼鏡 ナグラー26 ミリ(18 倍)・イーソス 17 ミリ(28 倍)・デロス 10 ミリ(48 倍)

カメラ キヤノン 60D a ・6D

レンズ 11~22・17~35・24~70・200 ミリ

赤道儀 スカイメモ

